

12月にGoogleフォームによる児童対象のアンケート、及び保護者アンケートを行いました。結果をもとに、さらに良い学校をめざし改善を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

1 児童対象のアンケート結果について

○ 一宮市による「子どもの意識実態調査」から項目ごとに抽出して回答を振り返りました。

- ① 「2.学校は楽しいですか」のA評価は63%で昨年度より2ポイント微減となりましたが、肯定的評価は91%と昨年度並みの高い数値を保っています。本校では日々の授業と学級経営を基盤としつつ、今年度は特に道徳の授業において、学年での指導者交代制や教員研修の充実に取り組んでまいりました。この数値は「未来を拓く子ども」を育むための重要な指標です。来年度もQ-Uや生活アンケートを効果的に活用して児童への支援を深め、子どもたちにとって魅力ある、通いたくなる学校づくりを全職員で推進してまいります。
- ② 「確かな学力の育成」については、「3.授業はよく分かりますか」という問いに対し、肯定的評価が79%と昨年度から1ポイント下がり、A評価の割合も3ポイント低下する結果となりました。学校生活の中心である授業において、子どもたちが「よく分かる」と実感できることは、学校生活を楽しむための第一歩です。今年度も学年ごとに研究授業の単元を揃え、協力して授業力の向上に励んでまいりました。来年度は、この結果を真摯に受け止め、子どもたちのさらなる学力向上のために、授業の工夫や指導改善に向けた研修をより一層強化してまいります。
- ③ 「豊かな心の育成」について、「4.自分には良いところがありますか」の肯定的評価は昨年度より7ポイント低下しました。自己肯定感、学習意欲や挑戦する心、他者への共感力を育む基盤となります。今後も、児童が自分の良さを認められる活動を継続して取り入れてまいります。「5.人が困っている時は助けていますか」の肯定的評価は昨年度と同じ92%ですが、年々減少しています。今後減少し続けることのないように、道徳の授業や行事を通して思いやりの心を育てていきます。「8.やりたいことや目標をもっていますか」に肯定的な児童は76%でした。12月の「夢授業」や2月の「いのちの授業」など、外部講師を活用した機会を今後も大切に、児童が自らの生き方や将来を考えるきっかけを作ってまいります。
- ④ 「信頼される学校づくり」について、「9.自分の学校に自慢できることがありますか」という問いに対し、A評価は48%、肯定的評価は77%でした。児童が自信を持って学校の魅力を語れるよう、自慢できるものを増やしていくことが大切だと考えています。今年度は、昨年度募集した学校のマスコット「このぶんちょう」のイラスト化を実現しました。今後も魅力ある学校づくりを推進し、児童が自分たちの学校に誇りを持てるよう支援を続けてまいります。
- ⑤ 「家庭生活」については、携帯電話やスマートフォン等を「持っている（家族共用含む）」と回答した児童が88%に上りました。また、写真やビデオをネットに公開・送信した経験がある児童は35%（昨年度比4ポイント増）となり、SNS等で嫌な思いをしたことがある児童も10%に達しています。今年度も4～6年生を対象にSNS講座を実施し、適切な使い方の指導に努めてまいりました。ネット利用の低年齢化やトラブルの現状を踏まえ、今後も情報モラル教育を継続し、児童の意識向上を図ってまいります。
- ⑥ 「自分の住んでいる町が好きですか」という問いでは、A評価が2ポイント上昇し、肯定的評価も98%と極めて高い割合を示しました。今年度も10月に「地域クリーン作戦」を実施し、尾西緑道の清掃活動を行いました。自分たちの手で地域をきれいにした経験は、郷土への愛着と誇りを深める貴重な機会となりました。これからも様々な活動を通じて、地域を大切に想う豊かな心を育ててまいりたいと思っております。

2 保護者対象の学校診断アンケート結果について

12月に実施いたしました保護者対象の学校診断アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今年度もGoogleフォームにて、13の質問項目で実施いたしました。

- 今年度の回収率は64%となり、前年度82%を大きく下回る結果となりました。皆様の声は学校運営の貴重な指針です。次年度はより丁寧な情報発信と呼びかけに努め、多くの皆様のお力添えをいただけるよう改善してまいります。

結果の概要については、学校通信「かけ橋」3月号でもお知らせしますが、主な分析と今後の方針を以下の通りご報告いたします。

① 情報発信・安全確保と皆様の声の反映（質問1・2・3）

学校からの情報発信（質問1）については93%、事故防止や緊急時の適切な対応（質問3）については92%という肯定的評価をいただきました。ただ、どちらも肯定的評価が減少傾向にあるので、Webサイト等を通じて、子どもたちの生き生きとした姿を分かりやすくお届けするとともに、お子様の安全を第一に考えた教育環境の維持に努めてまいります。

一方で、保護者の皆様のご意見の反映（質問2）については、強い肯定を示す「A評価」が昨年度より5ポイント低下いたしました。「安全・安心な学校」という土台の上に、さらに「皆様の声を大切にする」という意識を職員間で改めて共有し、声を形にしていけるように努めてまいります。今後も地域・保護者の皆様とこれまで以上に連携を密にし、共に歩む学校運営を進めてまいります。

② 子どもへの関わりと教職員の接遇（質問4・5・6）

子どもへの向き合い方や教職員の接遇については、90%以上の肯定率を維持しておりますが、昨年度比では微減となりました。『礼儀正しく親切な対応』はすべての教育活動の基盤です。一人ひとりと丁寧に向き合う時間を大切に、お子様が安心して自分らしさを発揮できるよう努めてまいります。

③ 確かな学力の育成と学習習慣（質問7・8・9）

「授業のわかりやすさ」や「家庭学習」については、残念ながら昨年度より評価が減少いたしました。研修や研究授業を重ねてまいりましたが、その成果を子どもたち一人ひとりに届けきれなかったことを課題として捉えています。今後は教員の指導力をさらに磨き、子どもたちから「わかった！楽しい！」という声が溢れる授業づくりに邁進します。家庭学習も各学年で見直し、意欲的に取り組めるよう工夫しますので、ぜひご家庭での励ましもお願い申し上げます。

一方で、「お子さんは楽しく元気に学校に通っていますか」という問いに対しては、強い肯定を示す「A評価（そう思う）」が昨年度の50%から53%へと増加しました。

全体の肯定率（91%）は昨年度より微減したものの、学校生活を心から楽しんでいるお子様が増えたことを、私たちは嬉しく、心強く感じております。まずは安心して登校できているこの心の土台を大切に、そのエネルギーを「学ぶ意欲」や「自ら考える力」へと繋げていけるよう、全力を注いでまいります。

④ 情報モラルと家庭でのルール作り（質問10～13）

家庭でのルール作りに関する項目では、肯定的評価が8ポイント上昇しました。ご家庭での熱心な取り組みに心より感謝申し上げます。これは学校と家庭が足並みを揃えて取り組んだ大きな成果です。今後も子どもたちが安全にICT機器を活用できるよう、密な連携を継続してまいります。

今回の結果をさらなる成長のための大切な指針として受け止めております。子どもたちが毎日笑顔で登校し、保護者の皆様に安心してお預けいただける学校を目指し、全職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。